

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 1 月 15 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (1/15 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	17.1 °C	107.5 kPa abs	A系： 0.06 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.07 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h	25.4 °C	5.97 kPa g	A系： 0.03 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 0.0 m ³ /h	24.2 °C	0.22 kPa g	A系： 0.09 vol%
		給水系：約 5.5 m ³ /h			B系： 0.08 vol%

*1：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

【2号機原子炉注水流量変更】

- ・ H26/1/8 10:17 汚染水処理の負担低減および原子炉冷却のリスクを総合的に判断し、炉心スプレイ系の注水流量を 1.0m³/h 低減させる。最初の操作として炉心スプレイ系の注水流量を 3.5m³/h から 3.0m³/h へ変更（給水系からの注水量は約 2.0m³/h で継続中）。
- ・ H26/1/15 10:20 その後、冷却状態を確認し、問題がないことから、炉心スプレイ系の注水流量を 3.0m³/h から 2.5m³/h へ変更（給水系からの注水量は約 2.0m³/h で継続中）。流量調整後の原子炉注水量は安定しており、現在までに压力容器底部温度等に有意な変動は確認されていない。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (1/15 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	10.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	9.8 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	7.9 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	15.2 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

- ・ H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。なお、同作業は平成 26 年末頃まで行う予定。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	1/12 9:55～ 移送実施中
3号機	3号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設（雑固体廃棄物減容処理建屋 [高温焼却炉建屋]）	12/17 16:00 ～ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (1/15 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 当面は、3系列のうち2系列による運転を実施することで2系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、

3系列の同時 運転を実施予定。

- ・ B系：平成 26 年 1 月下旬頃（予定）に腐食対策有効性確認のため、処理運転を停止予定。
- ・ H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

< 5. その他 >

- ・ H26/1/9, 11 1～4 号機取水路開渠内入口におけるシルトフェンス交換実施。
- ・ H26/1/15～ 1～4 号機タービン建屋内にある、震災発生直後に敷設した滞留水移送ホースについて、タービン建屋内のエリア確保ならびに通行の安全性の向上、不要なホースからの漏えいリスクの低減、雰囲気線量低減による被ばく低減の観点から、1 号機タービン建屋内より撤去作業を実施する予定。

【H4 エリアタンク等からの水の漏えい関連】

<トピックス>

- ・ H25/12/10 10:10～ 汚染水拡散の防止策として、H4 エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

<タンクエリアパトロール実績 (1/14) >

- ・ 高線量当量率箇所（ $\beta + \gamma$ 線（70 μ m 線量当量率））は確認されず。
- ・ 堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・ 1/12 に確認した G4 タンクエリア堰内水の漏えいを除き、目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと（漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く）を確認。
- ・ 汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

<H4 エリア周辺のサンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・ 1/14 に採取した B 排水路（C 排水路合流点前 [B-3]）のセシウム濃度が前回と比較して 10 倍を超過していることを確認。原因としては、当該試料が濁っていることから、排水路に蓄積していた土壌が影響したものと思われる。なお、その他ポイントの分析結果については、前回と比較して有意な変動は確認されていない。

<C 排水路合流点前 [B-3] の分析結果 (1/14 採取分) >

- ・ セシウム 134： 180 Bq/L
- ・ セシウム 137： 420 Bq/L
- ・ 全ベータ： 1,100 Bq/L

<C 排水路合流点前 [B-3] の分析結果 (1/13 採取分) >

- ・ セシウム 134： 検出限界値未満（検出限界値：18 Bq/L）
- ・ セシウム 137： 検出限界値未満（検出限界値：26 Bq/L）
- ・ 全ベータ： 200 Bq/L

【これまでの最高値】

<C 排水路合流点前 [B-3] の分析結果 (採取日) >

- ・ セシウム 134： 300 Bq/L (H25/9/15)
- ・ セシウム 137： 670 Bq/L (H25/9/15)
- ・ 全ベータ： 110,000 Bq/L (H25/10/24)

【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・ 1, 2 号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット（南）地下水から立坑 C および 2 号機タービン建屋への移送量は 1/15 0:00 時点で約 7,153m³ * 集水ピット（南）およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

<移送関係>

- ・ 2, 3 号機東側に設置したウェルポイント（バキュームによる強制的な排水設備）からの地下水汲み上げおよび 2 号機タービン建屋への移送を適宜実施中。
- ・ H25/12/11～ 1, 2 号機間護岸エリア地下水観測孔 No. 0-3-2 でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- H25/10/3～ 地下貯水槽 No. 1 の汚染範囲調査開始。
- H25/10/23～ 地下貯水槽 No. 6 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/11/15～ 地下貯水槽 No. 5 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/11/19～ 地下貯水槽 No. 1 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/11/28～ 地下貯水槽 No. 3 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/12/7～ 地下貯水槽 No. 2 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/12/16～ 地下貯水槽 No. 7 において浮き上がり対策を実施中。

<地下貯水槽サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以 上